

## 2009年度スローガン（案）

社団法人 八戸青年会議所

「誇り」と「絆」

～挑戦しよう！愛する故郷の未来へ向けて～

青森ブロック協議会

いざ、はっしん

～つよい JAYCEE による、つよいあおもりの創造に向けて～

東北地区協議会

もっと夢中になろう！

～意識変革をしたつよい JAYCEE による、やさしい東北創造のために～

POWER TO THE PEOPLE

社団法人日本青年会議所

やさしくあるためにつよくあれ！

リアリティと説得力を伴う「JC プライド」の実践！！

## 2009年度 役員(案)

[ 役 職 ]	[ 氏 名 ]
理事	長(理事) 石橋 伸之
直前	長 大館 一法
監	事 飯田 和雄
監	事 菊池 潤司
指導力開発室 担当副理事長	(理事) 杉本 紀之
社会開発室 担当副理事長	(理事) 河原木 琢也
社会開発室 担当副理事長	(理事) 河村 忠憲
50周年特別室 担当副理事長	(理事) 高橋 誠
50周年特別室 担当副理事長	(理事) 中野 正信
公益社団法人格取得特別会議 担当副理事長	(理事) 小山 直也
専務 理事	(理事) 山田 修也
財政特別 理事	(理事) 寺沢 奈美子
運営室 担当常任理事	(理事) 北山 光緑
指導力開発室 担当常任理事	(理事) 永洞 健
社会開発室 ひとつくり担当常任理事	(理事) 山本 徳彦
社会開発室 まちづくり担当常任理事	(理事) 若宮 崇
50周年特別室 50周年プロデュース委員会 担当常任理事	(理事) 苫米地 俊彦
50周年特別室 「誇りと絆」制作委員会 担当常任理事	(理事) 工藤 裕幸
50周年特別室 記念誌編集委員会 担当常任理事	(理事) 長澤 章
公益社団法人格取得特別会議 議長	(理事) 北村 寛
事務局 局長	(理事) 加藤 徹
総務委員会 委員長	(理事) 大川 慶人
指導力開発委員会 委員長	(理事) 稲塚 信行
ゆめみらい委員会 委員長	(理事) 安田 晃樹
ピーウィー実行委員会 委員長	(理事) 川島 龍也
おまつり委員会 委員長	(理事) 榊 純哉
広域まちづくり委員会 委員長	(理事) 久慈 剛
50周年プロデュース委員会 委員長	(理事) 荒道 武彦
「誇りと絆」制作委員会 委員長	(理事) 山田 一伸
記念誌編集委員会 委員長	(理事) 上野 裕泰
事務局 次長	(理事) 佐々木 隆悦
事務局 次長	(理事) 田島 理成
出向 理事	(理事) 番地 紀成
出向 理	(理事) 日山 錠治

## 2009年度 日本JC・地区・ブロック出向者(案)

[ 出 向 先 ]                      [ 役 職 ]                      [ 氏 名 ]

### 日本青年会議所

規 則 審 査 会 議	会 計 幹 事	藤 田	寛 明
全 国 大 会 運 営 会 議	委 員	木 村	栄 一
真 の 経 済 活 動 探 求 委 員 会 議	委 員	淡 路	俊 直 彦 也
公 益 法 人 格 取 得 実 践 会 議	委 員	小 山	直 也

### 東北地区協議会

東 北 JC プ ラ イ ド 特 別 会 議	副 議 長	番 地	紀 成
東 北 ゼ ミ ナ ー ル 委 員 会 議	副 委 員 長	飯 田	和 雄
東 北 ゼ ミ ナ ー ル 委 員 会 議	幹 事	清 水	隆 仁
東 北 JC プ ラ イ ド 特 別 会 議	委 員	上 村	克 彦
東 北 ゼ ミ ナ ー ル 委 員 会 議	委 員	若 宮	崇 彦

### 青森ブロック協議会

副 会 長		大 館	一 法
J C プ ラ イ ド 実 践 委 員 会	委 員 長	番 日	紀 成
総 務 委 員 会	委 員 長	三 山	錠 治
J C プ ラ イ ド 実 践 委 員 会	総 括 幹 事	永 上	洞 健
総 務 委 員 会	運 営 幹 事	青 池	俊 司
真 の 教 育 実 践 委 員 会	委 員	越 後 林	寛 之
ロ ー カ ル フ ァ ー ス ト 実 践 委 員 会	委 員	小 村 幡	千 裕
J C プ ラ イ ド 実 践 委 員 会	委 員	村 田	賴 信
J C プ ラ イ ド 実 践 委 員 会	委 員	小 泉	輝 美
J C 運 動 発 信 委 員 会	委 員	杉 浦	和 真
総 務 委 員 会	委 員	大 春	也 肇
ア カ デ ミ ー 大 学	塾 生	久 坂	健 幸
ア カ デ ミ ー 大 学	塾 生	佐 々 木	友 大
ア カ デ ミ ー 大 学	塾 生	下 中	秀 和
ア カ デ ミ ー 大 学	塾 生	庭 村	龍 二
ア カ デ ミ ー 大 学	塾 生	渡 邊	勝 也
ア カ デ ミ ー 大 学	塾 生		剛 史



## 2009年度 (社)八戸青年会議所 組織表 (案)

理事	執行部並びに常任理事 (20名)	石橋 伸之 杉本 紀之 河原 不琢也 河村 忠憲 高橋 誠 中野 正信 小山 直也 山田 修也 寺沢 奈美子 北山 光緑 永洞 健彦 山本 徳崇 若宮 裕幸 若米 地俊彦 工藤 裕章 草澤 寛 北村 徹 加藤 悦 佐々木 隆成 田島 理成
指 導 会	力 開 発 室 担 当 副 理 事 会 会 担 当 副 理 事 周 年 開 発 室 担 当 副 理 事 周 年 開 発 室 担 当 副 理 事 公 益 社 団 法 人 格 取 得 特 別 会 議 担 当 副 理 事 財 政 政 策 特 別 会 議 担 当 副 理 事 運 営 開 発 室 担 当 副 理 事 指 導 会 開 発 室 担 当 副 理 事 社 会 開 発 室 担 当 副 理 事 50 周 年 特 別 会 議 担 当 副 理 事 50 周 年 特 別 会 議 担 当 副 理 事 公 益 社 団 法 人 格 取 得 特 別 会 議 担 当 副 理 事	大川 慶人 浄法寺 幸大 坂本 克彦 上村 千裕 小幡 哲生 小山 一啓 木村 元之 月館 晴之 中居 平野 渡辺 剛史

指導力開発室 指導力開発委員会 (8名)	稲塚 信行 大久保 英樹 夏堀 嘉一郎 杉浦 一真 中野 錠治 日山 信也 村井 陽介 山田
----------------------------	---

社会開発室ひとつづくり ゆめみらい委員会 (12名)	児樹 肇也 安田 勝也 春日 智憲 庭角 正博 金澤 正樹 今美 由紀 沼畑 美奈美 野沢 文博 松本 工徳 安田 勝寿 山田 知
----------------------------------	---

社会開発室まちづくり おまつり委員会 (13名)	純哉 和哉 神 廣田 廣田 佐々木 佐々木 友和 鹿嶋 博美 久慈 卓詞 佐藤 隆幸 高橋 弘隆 田村 芳樹 橋本 英夫 松田 忍 山内 学 一彦
--------------------------------	---

50周年特別室 50周年プロジェクト委員会 (11名)	菅 祐彦 林 俊子 菅 米由希洋 越後 林寛之 大浦 誠之 坂本 賢庸 千代谷 佑志 沼田 健志 橋本 よし子 長谷川 義剛 森川 書志
-----------------------------------	--

公益社団法人取得特別会議 (2名)	副議長 小澤 一雄 幹事 鶴飼 桂
----------------------	----------------------

役員 (3名)	前 理 事 直 監 監	大館 一法 飯田 和雄 菊池 潤司
出 向	向 理 理	番地 紀成 日山 錠治

社会開発室ひとつづくり ピーウィー実行委員会 (12名)	龍也 輝也 川島 和也 小泉 俊彦 大坂 幸介 大橋 晴奈 金工 大蔵 榎垣 弘幸 城下 直樹 大坊 利彰 高橋 貴光 豊田 貴光 吉野 剛一郎
------------------------------------	---

社会開発室まちづくり 広域まちづくり委員会 (12名)	剛 明 高松 健興 久慈 俊一 久保 瑞貴 青池 光正 柏崎 寛樹 後藤 佳子 小林 三輝 竹高 龍二 千葉 實明 中村 龍一 藤田 信 村田 綱信
-----------------------------------	--

50周年特別室 「誇りと絆」制作委員会 (11名)	一伸 利也 山田 彩葉 野沢 吉邦 泉 真司 片岡 有紀子 工藤 隆仁 久保田 宏之 清水 紀成 早狩 芳 番地 三上 上村 和芳
---------------------------------	---

記念誌編集委員会 (11名)	上野 裕泰 菅田 稻太郎 五十嵐 昌一 淡路 俊彦 石橋 光一郎 河原 厚幸 工藤 下館 下館 橋本 三浦 秀和 三浦 忠明 宮嶋 博司 大輔
-------------------	--



## 第 2 号議案

### 2009 年度理事長基本方針（案）

本年、社団法人八戸青年会議所は創立 50 周年という大きな節目の年を迎えます。この節目の年に過去半世紀のまちづくりを振り返り検証を行うと共に、組織としての明確な未来ビジョンをメンバー一人ひとりが持つ必要があると考えます。

私達は青年として故郷<sup>ふるさと</sup>、そして日本の未来を見つめ、Jaycee として愛する故郷<sup>ふるさと</sup>のために何が必要で何をなすべきかを考え、行動していかなければなりません。市民の先達としてまちづくりを行っていく私達の心の中に必要なものは、思いやりの心、謙虚な心といった、日本人が美德として育ててきた相手の立場を尊重する精神です。本年は明るい豊かな社会の実現のために、過去・現在・未来と脈々と続く思いの繋がりを大切にしながら、更なる未来を切り拓くための新たな一歩としての運動を展開していく“挑戦の年”と考えます。

連日の報道で伝えられる自己中心的な考えによる凶悪犯罪の多さは、地方都市「八戸」においても例外ではなく、まさに異常な事態と言えるでしょう。これらは核家族化や少子化の進行によるコミュニティーの希薄化、物質的な豊かさを追求した結果もたらされた、行き過ぎた個人主義の蔓延といった、現代社会特有の諸問題によって引き起こされた心の荒廃が一因であると考えます。このような殺伐とした時代だからこそ、それぞれの心の中に、自らを普遍的規範に照らした自尊心としての「誇り」と、思いやりの心の繋がりとしての「絆」が必要であると考えます。

八戸青年会議所は、昭和 50 年に「ラブはちのへ」運動が誕生して以来今日まで『まちはそこに住む人の意識以上には良くなる』という意識のもと、「市民意識高揚運動」としての「ラブはちのへ」運動を基本理念とし、現在まで運動展開をしております。本年は指導力開発事業や社会開発事業、そして第 11 回ピーウィー国際アイスホッケー大会をはじめとする創立 50 周年記念事業といった各種事業に対し、「ラブはちのへ」運動の精神を基に積極果敢に取り組んでまいります。

その中で必要なのは固定概念に囚われることのないフレキシブルな発想とダイナミックな行動力です。不可能を感じた瞬間に成長は止まります。それを乗り越えられるのは若い力なのです。青年としての気概を持ち本年の活動を行い、その中で創立 50 周年からはじまる新たな可能性を模索し、未来に発信していきたいと考えます。

まちづくりはひとづくり。このまちの未来は子ども達の笑顔が溢れるまちでなければなりません。全ての子ども達は私達の宝であり、私達の未来そのものです。そのためにもこのまちは全ての子ども達にとって希望が持てる故郷<sup>ふるさと</sup>でなければならぬと考えます。

まちを知ることによりまちを愛する心が芽生えます。しっかりとした故郷<sup>ふるさと</sup>への愛着心を

育むことが、明るく豊かな子ども達の笑顔が溢れる未来に繋がっていくと考えます。

市民そしてまちからの負託と信頼に応える組織として、率先垂範することこそが青年会議所の在るべき姿だと考えます。昨年12月より新しい公益法人制度における5年間の移行期間が始まりました。公益性を有する組織として率先して行動することは、社会的信用の高まりや組織進化に繋がり、ひいては私達自身の資質向上に繋がります。そのためにも従来以上に組織の公益性を高めていくのは責務であると捉え、守るべきは継続し、変えるべきは大胆に変革していく必要があります。本年は新たな半世紀を歩み出す第一歩として公益社団法人格取得を目指し、より具体的なアクションをおこす年と位置づけます。

満開の桜の美しさに私達は心を打たれます。一片の花びらを心に例えるなら、満開の桜は私達の心の集まりであると言えるでしょう。小さな花びらが集まって美しく咲き誇る様には凜とした精神性を感じ、日本人としての誇りに訴えかけていると思います。一人ひとりが心の中に確固たる「誇り」を持ち、互いの「絆」を深めることにより、このまちの未来、そしてそこに暮らす私達にとっての明るい豊かな社会に繋がると確信致します。

私達は話し合うことで時間を共有し、互いの意見を尊重することで信頼を育むことができます。青年会議所においてはそのことが組織の前進に繋がると考えます。丁寧に、謙虚に、そして勇気を持って大胆に。そのような凜とした姿勢を持ち、洋々たる未来に向けて共に歩み出しましょう。

## 《重点テーマ》

「誇り」と「絆」を強固とする運動展開

## 《重点事業》

公益社団法人格取得に向けた組織進化

創立50周年記念式典及び記念事業の開催

(仮)「誇りと絆」の制作及び(仮)「市民の夕べ」の開催

創立50周年記念誌の発刊

指導力開発事業の開催

子ども達の笑顔を引き出す青少年事業の開催

八戸三社大祭の活性化を念頭に置いた(仮)「第32回おまつり広場」の開催

広く市民に浸透する広域まちづくり事業の開催

全員で取り組む会員拡大

## 2009年度事業計画（案）

### 《運営室》

#### 総務委員会

執行部を補佐し、八戸青年会議所の運営を円滑に進めると共に、内外における情報の受発信を行う。

総会、例会、理事会の運営

新年会、忘年会、卒業式の企画・開催

公益社団法人格取得特別会議と連携した公益社団法人格取得に向けた総会資料の作成

会員手帳の作成

各種案内の発送

ホームページの管理・運用

苫小牧青年会議所、松山青年会議所との交流の窓口

マスコミ諸団体の窓口

出向者報告の窓口

各事業の取材・記録の窓口

会員拡大の実施

### 《指導力開発室》

#### 指導力開発委員会

全メンバーを対象としたセミナーを開催し、指導力の開発に努め、個々の活性化を通じ組織の活性化を図る。

全メンバー対象の指導力開発セミナーを企画・開催

全メンバー対象の組織活性化事業の企画・開催

新入会員セミナーの企画・開催

会員拡大の実施及び入会手続きの窓口

### 《社会開発室》

#### ゆめみらい委員会

ふるさと故郷への愛着心を育み、子ども達の笑顔を引き出す青少年事業を展開する。

子ども達の笑顔を引き出す青少年事業の企画・開催

(仮)「第32回おまつり広場」における子ども達の笑顔を引き出す青少年事業の発信

三八圏域を対象としたわんぱく相撲への対応

ふれあい実行委員会への協力

会員拡大の実施

### **ピーウィー実行委員会**

八戸市・八戸商工会議所・青森県アイスホッケー連盟と共に第 11 回ピーウィー国際アイスホッケー大会を主催する。また、全国会員大会誘致運動の検証を行う。

ピーウィー組織委員会への参加協力

第 11 回ピーウィー国際アイスホッケー大会に関しての窓口

(仮)「第 32 回おまつり広場」における第 11 回ピーウィー国際アイスホッケー大会の活動報告の発信

全国大会特別会議と連携した全国会員大会誘致運動の検証及び報告書の作成

会員拡大の実施

### **おまつり委員会**

まちの誇りである八戸三社大祭の活性化を考え、市民と共に(仮)「第 32 回おまつり広場」を開催する。その中で、次代を担う市民参画実行委員会を立ち上げ、共に活動する。また、まちで活動する諸団体との連携を強化する。

八戸三社大祭と連携した(仮)「第 32 回おまつり広場」の企画・開催

次代を担う市民参画実行委員会の立ち上げ

まちで活動する諸団体との連携強化

会員拡大の実施

### **広域まちづくり委員会**

地域の自律に向けた連携を進めると共に、広く市民に浸透する広域まちづくり事業を展開する。また、広域地域での誇りを調査・研究し、その誇りを通じた協働事業を開催し、広域地域での絆を深め広く市民に発信して行く。

広域まちづくり事業の企画・開催

(仮)「第 32 回おまつり広場」における広域まちづくり事業の発信

南部州デザイン会議の窓口

全メンバー対象の広域連携セミナーの開催

会員拡大の実施

《50 周年特別室》

### **50 周年プロデュース委員会**

八戸青年会議所の歴史を振り返り、未来に向けた発信の場として記念式典を企画・開催する。また、新たな半世紀を力強く歩みだす創立 50 周年記念事業を企画・開催する。

創立 50 周年記念式典の企画・開催

創立 50 周年記念事業の企画・開催

会員拡大の実施

### **「誇りと絆」制作委員会**

このまちの更なる未来に向けて指標となる(仮)「誇りと絆」を企画・制作し、(仮)「市民の夕べ」を企画・開催する。

(仮)「誇りと絆」の企画・制作

(仮)「誇りと絆」を用いた(仮)「市民の夕べ」の企画・開催  
会員拡大の実施

### **記念誌編集委員会**

過去半世紀のまちづくりを検証し、未来構想及び提言を記載した創立 50 周年記念誌を編集・発刊する。

創立 50 周年記念誌の発刊

未来構想の策定

会員拡大の実施

### **公益社団法人格取得特別会議**

公益社団法人格取得に向けた実務を担当する。またそれに伴う見直しを行い、LOM 内に向けて提言する。

公益社団法人格取得を見据えた定款、諸規程の見直し

公益社団法人格取得に向けた LOM 内への提言

公益社団法人格取得に向けた諸手続きの担当

総務委員会と連携した公益社団法人格取得に向けた総会資料作成の窓口

会員拡大の実施

### **全国大会特別会議**

全国会員大会誘致運動の検証を行うと共に総合的に検討する。

ピーウィー実行委員会と連携した全国会員大会誘致運動の検証

全国会員大会誘致運動に関する情報の収集と分析

その他必要事項

### 第3号議案

議 案           ラブはちのへ基金取り崩し(案)の件

#### 上程理由

2009年度、(社)八戸青年会議所は50周年という大きな節目の年を迎えます。昭和50年に誕生した「ラブはちのへ」運動も30数年にわたり活動を続けてまいりました。2009年度も「ラブはちのへ」運動を永続的な運動という位置付けで積極果敢に取り組んでまいります。

2009年4月には、平成元年に我々が「ラブはちのへ」運動の一つの顔として行った事業の一つである「第11回ピーウィー国際アイスホッケー大会」が20年の時を超えて八戸で開催されます。この事業は先輩方がまちづくり、そしてこのまちを国際化の第一歩としての位置づけで開催したことは言うまでもありません。今までの活動を踏まえ、今回の大会を改めて「ラブはちのへ」運動の一つとして、より社会性の高い特別な事業として主催したいと考えております。その事業を一般会計から収支するのは困難だと考えられ、ラブはちのへ基金に関する内規に基づき基金取り崩しを上程いたします。

事業名       第11回ピーウィー国際アイスホッケー大会

金 額       5,000,000円

会計適用範囲   ラブはちのへ基金に関する内規に基づく

#### ラブはちのへ基金に関する内規

<b>本基金の資金構成</b> 本基金は一般からの寄附金、助成金、当会議所の一般会計、特別会計等より繰り入れられ構成する。
<b>ラブはちのへ基金の原資</b> 河村忠夫氏の寄附金300万円とJICの一般基金より200万円(故西村光弘理事長ご遺族からの寄附金50万円含む)を繰り入れ、500万円をもって原資とする。
<b>ラブはちのへ基金取り崩し</b> 本基金は、ラブはちのへ運動の理念に基づいた社会性の高い、特別な事業に使われるものとし、その金額並びに事業内容等を含め総会の承認を得るものとする。また、一般事業の資金として取り崩し使用する事はできない。
<b>資金の繰り入れ</b> 当会議所の剰余金の基金繰り入れは総会に於いて一般基金とラブはちのへ基金に相応の繰り入れができる。新入会員入会金においては、一搬基金に繰り入れるものとする。
<b>寄附者の記録</b> 寄附者に関しての名称、金額等を芳名帳に明記し、記録として保管する。

社団法人八戸青年会議所  
2009年度収支予算書総括表  
2009年1月1日から 2009年12月31日まで

(第2法)

科目	一般会計	おまつり広場特別会計	ビコー実行委員会特別会計	50周年特別会計	全国大会誘致運動特別会計	一般基金会計	ラブはちのへ基金会計	内部取引消去	合計	構成比
<b>事業活動収支の部</b>										
1. 事業活動収入										
<b>入会金収入</b>	<b>600,000</b>								<b>600,000</b>	<b>1.5%</b>
入会金収入	600,000								600,000	
<b>会費収入</b>	<b>21,860,000</b>								<b>21,860,000</b>	<b>54.3%</b>
正会員収入	17,640,000								17,640,000	
新入会員収入	3,150,000								3,150,000	
賛助会員収入	50,000								50,000	
特別会員収入	1,020,000								1,020,000	
<b>事業収入</b>	<b>0</b>	<b>0</b>							<b>0</b>	<b>0.0%</b>
登録料収入	0	0							0	
販売収入	0	0							0	
雑収入	0	0							0	
<b>補助金等収入</b>	<b>0</b>	<b>450,000</b>							<b>450,000</b>	<b>1.1%</b>
補助金収入	0	450,000							450,000	
<b>寄付金収入</b>	<b>0</b>	<b>0</b>							<b>0</b>	<b>0.0%</b>
寄付金収入	0	0							0	
募金収入	0	0							0	
<b>雑収入</b>	<b>90,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>90,000</b>	<b>0.2%</b>
受取利息収入	50,000	0	0	0	0	0	0	0	50,000	
雑収入	40,000	0	0	0	0	0	0	0	40,000	
<b>他会計からの繰入金収入</b>	<b>0</b>	<b>1,156,000</b>	<b>5,000,000</b>	<b>2,790,436</b>	<b>0</b>	<b>600,000</b>	<b>0</b>	<b>5,000,000</b>	<b>-4,546,436</b>	<b>-11.3%</b>
一般会計からの繰入金収入	0	1,156,000	0	2,790,436	0	600,000	0	-4,546,436	-4,546,436	
特別会計からの繰入金収入	0	0	5,000,000	0	0	0	0	0	0	
基金会計からの繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
<b>事業活動収入計</b>	<b>22,550,000</b>	<b>1,606,000</b>	<b>5,000,000</b>	<b>2,790,436</b>	<b>0</b>	<b>600,000</b>	<b>0</b>	<b>5,000,000</b>	<b>37,546,436</b>	
2. 事業活動支出										
<b>事業費支出</b>	<b>3,965,341</b>	<b>1,500,000</b>	<b>5,000,000</b>	<b>5,500,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>15,965,341</b>	<b>52.0%</b>
事業費支出	3,933,488	1,500,000	5,000,000	5,500,000	0	0	0	0	15,933,488	
総務委員会	276,000								276,000	
指導力開発委員会	770,000								770,000	
ゆめみらい委員会	840,000								840,000	
ビコー実行委員会	250,000								250,000	
おまつり委員会	144,000								144,000	
広域まちづくり委員会	570,000								570,000	
50周年プロデュース委員会	122,728			3,000,000					3,122,728	
「誇りと絆」制作委員会	160,951			1,500,000					1,660,951	
記念誌編集委員会	109,809			1,000,000					1,109,809	
公益社団法人格取得特別会議	130,000								130,000	
次年度	560,000								560,000	
事業予備費支出	31,853								31,853	
<b>管理費支出</b>	<b>10,796,843</b>	<b>106,000</b>							<b>10,902,843</b>	<b>35.5%</b>
会議費支出	450,000	50,000							500,000	
給料手当支出	1,960,000								1,960,000	
退職給与手当支出	48,000								48,000	
福利厚生費支出	477,812								477,812	
通信費	650,000								650,000	
消耗品費支出	550,000								550,000	
会員支給品費支出	705,810								705,810	
修繕費	100,000								100,000	
リース費	193,921								193,921	
印刷製本費支出	502,800								502,800	
光熱水料費支出	600,000								600,000	
賃借料支出	815,000								815,000	
業務委託支出	678,300								678,300	
保険料支出	5,200								5,200	
渉外費支出	2,000,000	56,000							2,056,000	
JIC間渉外	1,400,000								1,400,000	
諸渉外	600,000								600,000	
雑支出	860,000								860,000	
管理・運営予備費	200,000								200,000	
<b>負担金支出</b>	<b>3,041,380</b>								<b>3,041,380</b>	<b>9.9%</b>
JCI	199,680								199,680	
日本JIC	870,000								870,000	
地区協議会	239,000								239,000	
ブロック協議会	800,000								800,000	
国際協力金	284,700								284,700	
We Believe・JC-PRESS	468,000								468,000	
出向者負担金	180,000								180,000	
<b>他会計への繰入金支出</b>	<b>4,546,436</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>5,000,000</b>	<b>-8,946,436</b>	<b>600,000</b>	<b>2.0%</b>
一般会計への繰入金支出	0	0	0	0	0	0	5,000,000	-5,000,000	0	
特別会計への繰入金支出	3,946,436	0	0	0	0	0	0	-3,946,436	0	
基金会計への繰入金支出	600,000	0	0	0	0	0	0	0	600,000	
<b>事業活動支出計</b>	<b>22,350,000</b>	<b>1,606,000</b>	<b>5,000,000</b>	<b>5,500,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>5,000,000</b>	<b>-8,946,436</b>	<b>30,509,564</b>	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>200,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-2,709,564</b>	<b>0</b>	<b>600,000</b>	<b>-5,000,000</b>	<b>13,946,436</b>	<b>7,036,872</b>	
<b>科目</b>	<b>一般会計</b>	<b>おまつり広場特別会計</b>	<b>ビコー実行委員会特別会計</b>	<b>50周年特別会計</b>	<b>全国大会誘致運動特別会計</b>	<b>一般基金会計</b>	<b>ラブはちのへ基金会計</b>	<b>内部取引消去</b>	<b>備考</b>	
投資活動収支の部										
1. 投資活動収入										
<b>特定資産取崩収入</b>	<b>0</b>			<b>2,709,564</b>					<b>2,709,564</b>	<b>6.7%</b>
周年準備金積立資産取崩収入	0			2,709,564					2,709,564	
減価償却引当資産取崩収入(特定資産)	0			0					0	
<b>固定資産売却収入</b>	<b>0</b>			<b>0</b>					<b>0</b>	<b>0.0%</b>
<b>固定資産取崩収入</b>	<b>0</b>			<b>0</b>					<b>0</b>	<b>0.0%</b>
減価償却積立資産取崩収入	0			0					0	
<b>敷金・保証金戻り収入</b>	<b>0</b>			<b>0</b>					<b>0</b>	<b>0.0%</b>
<b>投資活動収入計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>2,709,564</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>2,709,564</b>	
2. 投資活動支出										
<b>特定資産取得支出</b>	<b>0</b>			<b>0</b>					<b>0</b>	<b>0.0%</b>
周年準備金積立資産取得支出	0			0					0	
減価償却引当資産取得支出(特定資産)	0			0					0	
<b>固定資産取得支出</b>	<b>200,000</b>			<b>0</b>					<b>200,000</b>	<b>0.7%</b>
什器備品取得支出	200,000			0					200,000	
減価償却積立資産取得支出	0			0					0	
<b>敷金・保証金支出</b>	<b>0</b>			<b>0</b>					<b>0</b>	<b>0.0%</b>
<b>投資活動支出計</b>	<b>200,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>200,000</b>	
<b>投資活動収支差額</b>	<b>-200,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>2,709,564</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>2,509,564</b>	
予備費支出										
当期収支差額	0	0	0	0	0	600,000	-5,000,000	13,946,436	9,546,436	
前期繰越収支差額	0	0	0	0	0	23,317,984	10,126,400		33,444,384	
次期繰越収支差額	0	0	0	0	0	23,917,984	5,126,400		29,044,384	

社団法人八戸青年会議所  
2009年度一般会計収支予算書  
2009年1月1日から 2009年12月31日まで

(第2法)

科目	予算額	備考	科目	2008年度予算	摘要
<b>事業活動収支の部</b>			<b>事業活動収支の部</b>		
1. 事業活動収入			1. 事業活動収入		
<b>入会金収入</b>	<b>600,000</b>		<b>入会金収入</b>		
入会金収入	600,000	20,000円×30名	入会金収入	600,000	入会金20,000円×30名(2008年度新入会員)
<b>会費収入</b>	<b>21,860,000</b>		<b>会費収入</b>		
正会員収入	17,640,000	140,000円×126名(2009年度当初の会員数)	正会員収入	17,360,000	正会員140,000円×124名(2008年度当初の会員数)
新入会員収入	3,150,000	140,000円×15名(1月入会目標数)	新入会員収入	3,150,000	新入会員140,000円×15名(1月入会目標数)
賛助会員収入	50,000	140,000円/2×15名(1月以降入会目標数)	賛助会員収入	50,000	賛助会員10,000円×5名
特別会員収入	1,020,000	17名×60,000円(2008年度卒業生数)	終身会費収入	680,000	卒業生11名×60,000円
<b>事業収入</b>	<b>0</b>		<b>事業収入</b>		
登録料収入	0		登録料収入	0	
<b>補助金等収入</b>	<b>0</b>		<b>補助金等収入</b>		
補助金収入	0		補助金収入	450,000	
<b>寄付金収入</b>	<b>0</b>		<b>寄付金収入</b>		
寄付金収入	0		寄付金収入	450,000	
募金収入	0		募金収入	0	
<b>雑収入</b>	<b>90,000</b>		<b>雑収入</b>		
受取利息収入	50,000		受取利息収入	0	
雑収入	40,000		雑収入	0	
<b>他会計からの繰入金収入</b>	<b>0</b>		<b>他会計からの繰入金収入</b>		
特別会計からの繰入金収入	0		特別会計からの繰入金収入	0	
基金会計からの繰入金収入	0		基金会計からの繰入金収入	0	
<b>事業活動収入計</b>	<b>22,550,000</b>		<b>事業活動収入計</b>	<b>22,330,000</b>	
2. 事業活動支出			2. 事業活動支出		
<b>事業費支出</b>	<b>3,965,341</b>		<b>事業費支出</b>		
総務委員会	3,933,488		a. 例会講師関係費	1,000,000	
指導力開発委員会	276,000		b. 事業予備費	3,045,588	
ゆめみらい委員会	770,000		c. 委員会事業費	2,577,501	
ピーウィー実行委員会	840,000		総務委員会	79,388	
おまつり委員会	250,000		広報委員会	125,375	
広域まちづくり委員会	144,000		会員開発委員会	165,902	
50周年プロデュース委員会	570,000		ラゾふるさと委員会	588,821	
'誇りと絆'制作委員会	122,728		おまつり委員会	21,916	
記念誌編集委員会	160,951		南部州委員会	29,485	
公益社団法人格取得特別会議	109,809		50周年発信委員会	26,641	
次年度	130,000		未来構想委員会	32,635	
事業予備費支出	31,853		全国大会誘致委員会	3,569,622	
<b>管理費支出</b>	<b>10,798,843</b>		d. 大会登録料	2,233,000	大会登録料(全国大会10,000円×154名 地区大会登録料4,500円×154名 懇親会費別)
会議費支出	450,000	イ. 総会会場費(2回) 230,000円 ロ. 三役会・常任理事会会場費3,000×30回 ハ. 次年度会議会場費 130,000円 ニ. 基本給120,000円×12ヶ月 ホ. 通動手当5,000円×12ヶ月	計	9,815,575	
給料手当支出	1,960,000	イ. 基本給120,000円×12ヶ月 ロ. 例会・理事会手当4,000円×25回 ハ. 通動手当20,000円×12ヶ月 ニ. 精勤手当20,000円×12ヶ月 ホ. 賞与120,000円×1ヶ月 ヘ. 商工会議所退職金制度 1,000円×4×12ヶ月		9,926,252	
退職給与手当支出	48,000	イ. 社会保険料19,651円×12ヶ月 ロ. 労働保険料42,000円 ハ. その他200,000円			
福利厚生費支出	477,812		管理費支出		
通信費	650,000		<b>事務費支出</b>		
消耗品費支出	550,000		事務局維持費	868,060	イ. 賃料168,060 ロ. 共益費150,000 ハ. 光熱費550,000
会員支給品費支出	705,810	イ. J.C手帳 109,200円 ロ. 新入会員用品 90,810円 ハ. 卒業生関係費 505,800円	倉庫賃料	315,000	イ. 賃料 25,000円×1.05×12ヶ月
修繕費	100,000		事務局員費	3,337,760	イ. 基本給203,500円×12ヶ月 ロ. 通動手当5,000円×12ヶ月 ハ. 精勤手当20,000円×12ヶ月 ニ. 退職金引当金 商工会議所退職金制度 1,000円×4×12ヶ月 ヘ. 社会保険料303,888円 ト. 福利厚生費200,000円
リース費	193,921	イ. コピー機13,440円×12ヶ月 ロ. FAX・プリンタ4,700円×5ヶ月、4,700×1年 ハ. パソコン4,441円×1年	通信費	650,000	
印刷製本費支出	502,800	イ. 総会資料代 167,000円 ロ. 会員手帳代 299,200円 ハ. 新入会員シール作成費 36,600円	消耗品費	550,000	
光熱水料費支出	600,000		リース費	270,972	イ. コピー機13,440円×12ヶ月 ロ. FAX・プリンタ4,700円×12ヶ月 ハ. パソコン4,441円×12ヶ月
賃借料支出	815,000	イ. 事務局500,000 ロ. 倉庫25,000円×1.05×12ヶ月 ハ. その他 400,000円	備室料	130,000	
業務委託支出	678,300	イ. ALSOC 10,500×12ヶ月 ロ. 税理士相談料 105,000円 ニ. 司法書士相談料 52,500円 ハ. 火災保険	慶弔費	150,000	
保険料支出	5,200		雑費	500,000	
渉外費支出	2,000,000		インフォメーション関係費	310,000	
J.C.間渉外	1,400,000		渉外費支出	1,400,000	
諸渉外	600,000	イ. 慶弔費 150,000 ロ. 南部州デザイン会議 50,000 ハ. その他 400,000 ニ. シニアクラブ運営委託30,000×17 ホ. 褒賞費150,000 ヘ. その他200,000	J.C.間渉外費	200,000	
雑支出	860,000		シニアクラブ運営協力金	330,000	30,000円×卒業生11名
<b>管理・運営予備費</b>	<b>200,000</b>		次年度準備金	130,000	
<b>負担金支出</b>	<b>3,041,380</b>		計	5,940,820	
J.C.	198,680	1,280円×156名	<b>負担金支出</b>		
日本J.C	870,000	基本額90,000円+付加金5,000円×156名	J.C.	212,520	1,380円×154名
地区協議会	239,000	基本額5,000円+付加金1,500円×156名	日本J.C	860,000	基本額90,000円+付加金5,000円×154名
ブロック協議会	800,000	基本額20,000円+付加金5,000円×156名	地区	236,000	基本額5,000円+付加金1,500円×154名
国際協力金	284,700	1,825円×156名	ブロック	790,000	基本額20,000円+付加金5,000円×154名
We Believe-JC-PRESS	468,000	3,000円×156名	国際協力金	281,080	1,825円×154名
出向者負担金	180,000	イ.(社)日本青年会議所20,000円×4名 ロ. 東北地区協議会東北地区J.C.委員会10,000円×1名 ハ. 青森J.C.協議会7名×大学塾生10,000円×9名	WE BELIEVE-JC-PRESS	462,000	3,000円×154名
<b>他会計への繰入金支出</b>	<b>4,546,436</b>		出向者負担金	350,000	イ.(社)日本青年会議所20,000円×13名 ロ. 東北地区協議会東北地区J.C.委員会10,000円×2名 ハ. 青森J.C.協議会7名×大学塾生10,000円×7名
特別会計への繰入金支出	3,946,436	おまつり広場特別会計 1,156,000 50周年特別会計 2,790,436	南部州デザイン会議	50,000	
基金会計への繰入金支出	600,000		計	612,520	
<b>事業活動支出計</b>	<b>22,350,000</b>		<b>他会計への繰入金支出</b>		
<b>事業活動収支差額</b>	<b>200,000</b>		特別会計への繰入金支出	800,000	
<b>科目</b>	<b>予算額</b>		一般基金への繰入金支出	600,000	
1. 投資活動収支の部			<b>事業活動活動支出計</b>	<b>17,419,592</b>	
<b>投資活動収入</b>			<b>事業活動活動収支差額</b>	<b>4,910,408</b>	
<b>特定資産取崩収入</b>	<b>0</b>		<b>投資活動収支の部</b>		
周年準備金引当資産取崩収入	0		1. 投資活動収入		
減価償却引当資産取崩収入(特定資産)	0		<b>投資活動収入</b>		
<b>固定資産売却収入</b>	<b>0</b>		<b>投資活動収入</b>		
<b>固定資産取崩収入</b>	<b>0</b>		<b>固定資産取得支出</b>	250,000	
減価償却引当資産取崩収入(その他資産)	0		<b>投資活動支出</b>	250,000	
<b>敷金・保証金戻り収入</b>	<b>0</b>		<b>投資活動収支差額</b>	250,000	
<b>投資活動収入計</b>	<b>0</b>		<b>予備費支出</b>	150,000	
2. 投資活動支出			<b>当期支出差額</b>	<b>1,779,614</b>	
<b>特定資産取得支出</b>	<b>0</b>		<b>前期繰越収支差額</b>	<b>1,779,614</b>	
周年準備金引当資産取得支出	0		<b>次期繰越収支差額</b>	<b>0</b>	
減価償却引当資産取得支出(特定資産)	0				
<b>固定資産取得支出</b>	<b>200,000</b>				
什器備品取得支出	200,000				
減価償却引当資産取得支出(その他支出)	0				
<b>敷金・保証金支出</b>	<b>200,000</b>				
<b>投資活動支出計</b>	<b>200,000</b>				
<b>投資活動収支差額</b>	<b>-200,000</b>				
<b>子備費支出</b>	<b>0</b>				
<b>当期収支差額</b>	<b>0</b>				
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>0</b>				
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>0</b>				

社団法人八戸青年会議所  
 2009年度おまつり広場特別会計収支予算書  
 2009年1月1日から 2009年12月31まで

(第2法)

科目	予算額	備考
事業活動収支の部		
1. 事業活動収入		
<b>事業収入</b>	0	
登録料収入		
販売収入		
雑収入		
<b>補助金等収入</b>	450,000	
補助金収入	450,000	
<b>寄付金収入</b>	0	
寄付金収入		
募金収入		
<b>雑収入</b>	0	
受取利息収入		
雑収入		
<b>他会計からの繰入金収入</b>	1,156,000	
一般会計からの繰入金収入	1,156,000	
特別会計からの繰入金収入		
基金会計からの繰入金収入		
<b>事業活動収入計</b>	<b>1,606,000</b>	
2. 事業活動支出		
<b>事業費支出</b>	1,500,000	
事業費支出	1,500,000	
<b>管理費支出</b>	106,000	
会議費支出	50,000	
渉外費支出	56,000	
<b>他会計への繰入金支出</b>	0	
一般会計への繰入金支出		
特別会計への繰入金支出		
基金会計への繰入金支出		
<b>事業活動支出計</b>	<b>1,606,000</b>	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>0</b>	
当期収支差額	0	
前期繰越収支差額	0	
次期繰越収支差額	0	

社団法人八戸青年会議所  
 2009年度ビ-ワイ-実行委員会特別会計収支予算書  
 2009年1月1日から 2009年12月31まで

(第2法)

科目	予算額	備考
事業活動収支の部		
1. 事業活動収入		
雑収入	0	
受取利息収入		
雑収入		
他会計からの繰入金収入	5,000,000	
一般会計からの繰入金収入		
特別会計からの繰入金収入		
基金会計からの繰入金収入	5,000,000	
<b>事業活動収入計</b>	<b>5,000,000</b>	
2. 事業活動支出		
事業費支出	5,000,000	
事業費支出	5,000,000	
他会計への繰入金支出	0	
一般会計への繰入金支出		
特別会計への繰入金支出		
基金会計への繰入金支出		
<b>事業活動支出計</b>	<b>5,000,000</b>	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>0</b>	
当期収支差額	0	
前期繰越収支差額	0	
次期繰越収支差額	0	

社団法人八戸青年会議所  
 2009年度全国大会誘致運動特別会計収支予算書  
 2009年1月1日から 2009年12月31日まで

(第2法)

科目	予算額	2008年度修正予算額	差異	備考
事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
雑収入	0	0		
受取利息収入				
雑収入				
他会計からの繰入金収入	0	800,000		
一般会計からの繰入金収入		800,000		
特別会計からの繰入金収入				
基金会計からの繰入金収入				
<b>事業活動収入計</b>	<b>0</b>	<b>800,000</b>		
2. 事業活動支出				
事業費支出	0	1,150,000		
事業費支出	0	1,150,000		
全国大会誘致事業費		550,000		
現地調査対応関係費		350,000		
誘致PRビデオ作製費		250,000		
他会計への繰入金支出	0	0		
一般会計への繰入金支出	0			
特別会計への繰入金支出				
基金会計への繰入金支出				
<b>事業活動支出計</b>	<b>0</b>	<b>1,150,000</b>		
<b>事業活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>-350,000</b>		
当期収支差額	0	-350,000		
前期繰越収支差額	0	399,323		
次期繰越収支差額	0	49,323		

社団法人八戸青年会議所  
 2009年度50周年特別会計収支予算書  
 2009年1月1日から 2009年12月31日まで

(第2法)

科目	予算額	備考
事業活動収支の部		
1. 事業活動収入		
雑収入	0	
受取利息収入		
雑収入		
他会計からの繰入金収入	2,790,436	
一般会計からの繰入金収入	2,790,436	
特別会計からの繰入金収入		
基金会計からの繰入金収入		
<b>事業活動収入計</b>	<b>2,790,436</b>	
2. 事業活動支出		
事業費支出	5,500,000	
事業費支出	5,500,000	
50周年プロデュース委員会	3,000,000	
「誇りと絆」制作委員会	1,500,000	
記念誌編集委員会	1,000,000	
他会計への繰入金支出	0	
一般会計への繰入金支出		
特別会計への繰入金支出		
基金会計への繰入金支出		
<b>事業活動支出計</b>	<b>5,500,000</b>	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>-2,709,564</b>	
科目	予算額	
投資活動収支の部		
1. 投資活動収入		
特定資産取崩収入	2,709,564	
周年準備金引当資産取崩収入	2,709,564	
<b>投資活動収入計</b>	<b>2,709,564</b>	
2. 投資活動支出		
特定資産取得支出	0	
周年準備金引当資産取得支出		
<b>投資活動支出計</b>	<b>0</b>	
<b>投資活動収支差額</b>	<b>2,709,564</b>	
当期収支差額	0	
前期繰越収支差額	0	
次期繰越収支差額	0	

社団法人八戸青年会議所  
 2009年度一般基金会計収支予算書  
 2009年1月1日から 2009年12月31日まで

(第2法)

科目	予算額	2008年度予算額	差異	備考
事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
雑収入	0			
受取利息収入				
雑収入				
他会計からの繰入金収入	600,000			
一般会計からの繰入金収入	600,000			
特別会計からの繰入金収入				
基金会計からの繰入金収入				
<b>事業活動収入計</b>	<b>600,000</b>			
2. 事業活動支出				
他会計への繰入金支出	0			
一般会計への繰入金支出				
特別会計への繰入金支出				
基金会計への繰入金支出				
<b>事業活動支出計</b>	<b>0</b>			
<b>事業活動収支差額</b>	<b>600,000</b>			
当期収支差額	600,000		0	
前期繰越収支差額	23,317,984	23,317,984		
次期繰越収支差額	23,917,984	23,317,984		

社団法人八戸青年会議所  
 2009年度一般基金会計収支予算書  
 2009年1月1日から 2009年12月31日まで

(第2法)

科目	予算額	2008年度予算額	差異	備考
事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
雑収入	0			
受取利息収入				
雑収入				
他会計からの繰入金収入	600,000			
一般会計からの繰入金収入	600,000			
特別会計からの繰入金収入				
基金会計からの繰入金収入				
<b>事業活動収入計</b>	<b>600,000</b>			
2. 事業活動支出				
他会計への繰入金支出	0			
一般会計への繰入金支出				
特別会計への繰入金支出				
基金会計への繰入金支出				
<b>事業活動支出計</b>	<b>0</b>			
<b>事業活動収支差額</b>	<b>600,000</b>			
当期収支差額	600,000	0		
前期繰越収支差額	23,317,984	23,317,984		
次期繰越収支差額	23,917,984	23,317,984		

議 案 特別会計設置（案）の件

上程理由

2009年度八戸青年会議所は公益社団法人格取得を目指すにあたり、平成18年度版の新会計基準に準じた会計を行っていきます。その中で外部資金により行う事業は一般会計と区別して行わなければいけません。そこで定款第46条第3項に基づき三つの特別会計の設置を上程いたします。

設置期間 2009年1月1日～事業終了まで

事業名 1. (仮称) 第32回おまつり広場  
2. 第11回ピーウィー国際アイスホッケー大会  
3. 50周年記念事業

会計年度 定款第46条 第3項に基づく

会計適用範囲 1. (仮称) 第32回おまつり広場開催に必要と認められた費用  
2. 第11回ピーウィー国際アイスホッケー大会主催に必要と認められた費用  
3. 50周年記念事業に必要と認められた費用

定款第46条 第3項

特別会計は、一般会計で処理するに不相当と認められる大規模もしくは特殊な事業に関する収支を事業別に経理する。



## (社)八戸青年会議所 2009年度 年間スケジュール(案)

2009年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
八戸JC	総会・臨時総会	総会11日(日)						臨時総会21(火)					総会13日(日)
	理事会	7日(水)	4日(水)	4日(水)	2日(木)	7日(木)	3日(水)	6日(月)	6日(木)	3日(木)	6日(火)	4日(水) 25(水)	28日(月)
	総会・定例会	11日(日)	18日(水)	18日(水)	20日(月)	18日(月)	18日(木)	21日(火)	18日(火)	18日(金)	19日(月)	18日(水)	13日(日)
	三役会	20日(火)	20日(金)	19日(木)	17日(金)	20日(水)	22(月)	22日(水)	20日(木)	24日(木)	21日(水)	16日(月)	17日(木)
	常任理事会	28日(水)	26日(木)	26日(木)	24日(金)	27日(水)	29日(月)	29日(水)	26日(水)	30日(水)	27日(火)	20日(金)	22日(火)
	郵便物発送日	8(木)・29(木)	6(金)・27(金)	6(金)・27(金)	6(月)・23(木)	8(金)・28(木)	8(月)・26(金)	8(水)・24(金)	7(金)・27(木)	4(金)・25(金)	7(水)・28(水)	5(木) 26(木)	2(水)・24(木)
	幹事会	8日(木)	6日(金)	6日(金)	6日(月)	8日(金)	8日(月)	8日(水)	7日(金)	4日(金)	7日(水)	5日(木)	2日(水)
青森ブロック協議会	・新春名刺交歓会 31日(土) ・役員会議 27(火)  ・会員会議所会議 31日(土)[黒石]			・アカデミー開校式 7(土)・8日(日) [黒石] ・役員会議 24(火)  ・会員会議所会議 28日(土) [五所川原]	・アカデミー大学 11(土)・12日(日) [三沢] ・役員会議 21(火)  ・会員会議所会議 25日(土)[むつ]	・アカデミー大学 9(土)・10日(日) [青森] ・役員会議 19(火)  ・会員会議所会議 23日(土)[八戸]	・アカデミー大学 13(土)・14日(日) [八戸] ・役員会議 23(火)  ・会員会議所会議 27日(土)[三沢]	・アカデミー大学 [弘前] ・役員会議 14(火) ・ブロック会員大会 [弘前]  ・会員会議所会議 [弘前]		・アカデミー開校式 26(日) [五所川原] ・役員会議 20(日)  ・会員会議所会議 26日(土)[青森]	・役員会議 6(火)  ・会員会議所会議 10日(土)[十和田]	・ブロック卒業式 14日(土) ・役員会議 10(火)  ・会員会議所会議	・役員会議 2(水)  ・会員会議所会議 5日(土)[黒石]
東北地区協議会	・役員会議・地区ナイ ト23日(金)[京都]  ・会員会議所会議 24日(土)[京都] ・正副会議 8日(金)・29日 (木)[江刺]	役員会議 13日(金) 仙台  東北ゼミナール開校 式14日・15日[仙 台]  ・正副会議 27日(金)[江刺]	役員会議 13日(金) 南相馬  東北ゼミナール 14日・15日[ ]  ・正副会議 27日(金)[仙台]	役員会議 10日(金) 盛岡  東北ゼミナール 11日・12日[ ]  ・正副会議 24日(金)[江刺]	役員会議 8日(金) 黒石  東北ゼミナール 9日・10日[ ]  ・正副会議 22日(金)[江刺]	役員会議 12日(金) 寒河江  東北ゼミナール 13日・14日[ ]  ・正副会議 26日(金)[仙台]	役員会議 10日(金) 秋田  東北青年フォーラム 12日(土)～13日 (日)[南相馬]  東北ゼミナール開校 式 12日[ ]  ・正副会議 31日(金)[江刺]		役員会議 11日(金) 南相馬  東北青年フォーラム 12日(土)～13日 (日)[南相馬]  東北ゼミナール開校 式 12日[ ]  ・正副会議 25日(金)[仙台]	役員会議 2日(金) さくら  卒業式 27日(金)[江刺]  ・正副会議 23日(金)[仙台]	役員会議 6日(金) 白河  卒業式 27日(金)[江刺]  ・正副会議 13日(金)[仙台]	役員会議 18日(金) 江刺	
JCI・日本JC	・京都会議 22日(木)～25日(日) [京都] ・総会24日(土)[京都] ・理事会 23日(京都)			・総会21日(土) ・理事会 20日 (金)	・理事会 18日 (土)	・理事会 16日 (土)	・ASAFL 4日(木)～7日(日) [長野] ・理事会 20日 (土)	・サマーコンプレックス 25日(土)～26日(日) [横浜] ・理事会24日(金) [横浜]		・全国会員大会 15日(木)～18日(日) [那覇] ・総会16日(金)[那覇] ・理事会 19日 (土)	・JCI世界会議 15日(日)～21日(土) [チェジュ] ・理事会 21日 (土)	・理事会 19日 (土)	

おまつり委員会	おまつり広場の歴史検証 おまつり広場の開催意義の模索 市民参画実行委員会・関係諸団体との連携推進 まちで活動する諸団体との連携随時 京都会議への参加	おまつり広場の開催意義の策定 おまつり広場企画の模索 市民参画実行委員会・関係諸団体との連携推進	おまつり広場企画・策定 市民参画実行委員会・関係諸団体との連携推進 第2回勉強会開催	おまつり広場企画・策定 市民参画実行委員会・関係諸団体との連携推進 ビーウィーアイスホッケー大会の参加・協力	おまつり広場企画・策定 おまつり広場関係書類作成 市民参画実行委員会・関係諸団体との連携推進 ビーウィーアイスホッケー大会の参加・協力 ASPAC長野への参加	おまつり広場企画・策定 おまつり広場関係書類作成 市民参画実行委員会・関係諸団体との連携推進 わんぱく相撲ブロック場所への参加 青少年事業の準備 JCI-ASPAC長野大会への参加	第39回青森ブロック会員大会弘前大会への参加 おまつり広場開催準備 サマーコンファレンスへの参加 7月定例会主管	おまつり広場開催関係諸団体へのお礼状郵送	東北青年フォーラムin南相馬への参加 事業報告書の作成 ボランティアフェスティバルへの参加・協力	第58回全国会員大会沖縄那覇大会への参加 事業報告書の作成	事業報告書の作成 次年度への申し込み	次年度への申し込み
広域まちづくり委員会	南部州各LOMの新年会へ参加 南部州デザイン会議との顔あわせ 京都会議への参加	全体セミナー企画・開催 南部州デザイン会議の窓口	6月主管定例会の企画立案・検討	広域まちづくり事業の企画立案・検討 ビーウィーアイスホッケー大会の参加・協力	6月主管定例会の検討 おまつり広場事業の企画立案・検討 ビーウィーアイスホッケー大会の参加・協力	6月定例会主管広域まちづくり事業開催にあたり地区との会議 JCI-ASPAC長野大会への参加	広域まちづくり事業の開催 おまつり広場事業の検討 第39回青森ブロック会員大会弘前大会への参加 サマーコンファレンスへの参加	(仮)第32回おまつり広場における広域まちづくり事業の発信	東北青年フォーラムin南相馬への参加	第58回全国会員大会沖縄那覇大会への参加	報告書の作成	
50周年プロデュース委員会	記念式典・祝賀会・講演会検討 記念事業検討 50周年PR(新年会) 5月主管定例会の検討・企画 京都会議への参加	記念式典・祝賀会・講演会企画検討 記念事業検討 5月主管定例会検討	記念式典・祝賀会・講演会企画立案 記念事業企画検討 5月主管定例会企画立案	記念式典・祝賀会・講演会企画上程 50周年PR 5月主管定例会上程 ビーウィーアイスホッケー大会の参加・協力	記念式典・祝賀会・講演会準備 50周年PR 記念事業企画立案 5月定例会主管 ビーウィーアイスホッケー大会の参加・協力	50周年記念式典・祝賀会・50周年記念講演会開催 JCI-ASPAC長野大会への参加	記念事業企画上程 事業報告書作成 サマーコンファレンスへの参加 第39回青森ブロック会員大会弘前大会への参加	記念事業準備 第32回おまつり広場の協力	50周年記念事業開催 東北青年フォーラムin南相馬への参加	第58回全国会員大会沖縄那覇大会への参加 事業報告書作成	委員会報告書の作成	
「誇りと絆」制作委員会	(仮)「誇りと絆」シナリオ作成・業者選定準備。 第3回講師勉強会。 京都会議への参加。	(仮)「誇りと絆」シナリオ作成。	(仮)「誇りと絆」業者選定。シナリオ作成。	(仮)「誇りと絆」理事会承認後・映像制作発注。 ビーウィーアイスホッケー大会の参加・協力	(仮)「誇りと絆」制作。 8月定例会主管企画。 (仮)「市民の夕べ」企画。 ビーウィーアイスホッケー大会の参加・協力	(仮)「誇りと絆」制作。 8月定例会企画。 (仮)「市民の夕べ」企画。 JCI-ASPAC長野大会への参加。	(仮)「誇りと絆」制作 (仮)「市民の夕べ」企画 第39回青森ブロック会員大会弘前大会への参加 サマーコンファレンスへの参加。	(仮)「誇りと絆」制作・完成 8月定例会主管(仮)「市民の夕べ」準備。	(仮)「市民の夕べ」開催。 (仮)「誇りと絆」事業報告。 東北青年フォーラムin南相馬への参加。	(仮)「市民の夕べ」検証。 第58回全国会員大会沖縄那覇大会への参加。	委員会報告書作成。	事業報告書のまとめ。
記念誌編集委員会	記念誌構成(案)の模索 未来構想(案)の模索 京都会議への参加	記念誌構成(案)の模索 未来構想(案)の模索 記念誌スポンサー募集(案)の検討	記念誌構成(案)の策定 未来構想(案)の検討 記念誌スポンサー募集(案)の検討	記念誌編集作業 未来構想(案)の作成 ビーウィーアイスホッケー大会の参加・協力	記念誌編集作業 未来構想(案)の作成 ビーウィーアイスホッケー大会の参加・協力	記念誌編集作業 未来構想(案)の作成 JCI-ASPAC長野大会への参加。	記念誌編集作業 未来構想(案)の策定 第39回青森ブロック会員大会弘前大会への参加 サマーコンファレンスへの参加。	記念誌第1回校正	記念誌第2回校正 9月定例会主管 東北青年フォーラムへの参加	記念誌最終校正 第58回全国会員大会沖縄那覇大会への参加。	記念誌の発刊 報告書の作成	
公益社団法人格取得特別会議	定款・諸規程の見直し 京都会議への参加	定款・諸規程の見直し 公益社団法人取得に関するセミナー開催	定款・諸規程の見直し 申請書類作成	定款・諸規程の見直し 申請書類作成 ビーウィーアイスホッケー大会の参加・協力	定款・諸規程の見直し 申請書類作成 ビーウィーアイスホッケー大会の参加・協力	定款・諸規程の見直し JCI ASPAC長野大会への参加 申請書類作成	定款・諸規程の見直し 申請書類作成 サマーコンファレンスへの参加。 第39回青森ブロック会員大会弘前大会への参加	定款・諸規程の見直し 申請書類作成	定款・諸規程の見直し 申請書類作成 東北青年フォーラムin南相馬への参加	定款・諸規程の見直し 申請書類作成 第58回全国会員大会沖縄那覇大会への参加	定款・諸規定の見直し 申請書類作成 公益社団法人取得に関するセミナー開催 次年度への引継ぎ	定款・諸規程の見直し 申請書類作成 次年度への引継ぎ